
咎をもちいて、咎を制す

夢幻

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

咎をもちいて、咎を制す

【Nコード】

N4182Z

【作者名】

夢幻

【あらすじ】

昔々、罪を犯し、呪いをかけられた12人がいた、だが、12人はその呪いを拒み、子孫へ受け継がせた。これは、その子孫たちの殺し合いの話である…。

序章

「空から、何か降ってこないかなあ。」

(……、なんて言ってみただけど、そんなこと、有るわけ無いか！)

ボコッ

「ん？」

ボコボコッ

「な、なにこれええ！」

(空からなにか降ってこないかって言ってみただけど、地面の中から女の子が出てくるものなの！？)

「貴方は、誰？」

「ちよつと待って、あなたこそ誰。突然、地面から出てきて。」

「申し遅れました。私の名前は、クリアス＝マーガトロイドと言います、あなたは？」

「櫻宮 雅^{なつみ}^{みや}ただけど、クリアスさんはいい加減、体を地面から出したら、どうですか？首しか出てないんですから。」

「そうですね、ちよつと待ってください。よっこいしょ！」ボコボコッ

「(。(。)」

「何驚いてるんですか？私の体、そんなにおかしいですか？」

「いくらなんでも小さすぎない？何歳で何cmよ、あなた……。」

「11歳で97cmですけど。」

「ちつちや！何をしたら、そうなるのよ。」

「海老とか、サラダとか、食べますけど、そんなに変ですか？私の身体は。」

「うん、おかしい。というか、変。」

「そうですね、まあ、それは置いて、とりあえず、あなたは選ばれました。これを受け取ってください。」

「そんな怪しい物は、受け取れません。お引き取りを。」

「いや、そんなこと言わずにこれを受け取ってください、さあ！」

「とりあえず、なにに選ばれた説明してほしいのですが。」

「めんどくさいので断っていいですか？」

「駄目です。」

「じゃあ言います。あなたは、12人の中の一人に選ばれました。」

「だから、それは、何の中の一人ですか？」

「数世紀前、12人に呪いをかけられた者達がいきました。その12人は、それぞれ罪を犯していました。ある1人は、大量虐殺を。ある1人は、多くの財宝を盗み。その12人は『咎を制し者』と呼ばれていました。」

「その、12人がどうかしたんですか？」

「その12人は、国王に呪いをかけられました。その呪いを解くには、自分以外の12人の命を消し去ること。しかし、その12人は自分の呪いを未来の子孫へ、移してしまいました。その中の子孫の1人が雅さんです。」

「何で自分の子孫に呪いを受け継がせたんですか。自分の罪を認めないで。」

「その殺しあいに賛成した者もいました。ですが、殺しあいの手段と能力がなかったんです。」

「能力って？」

「刃物を使う者なら、『どんなどころにでも、刃物を飛ばせる』という能力。毒物を使う者なら『触れた部分に毒を染み込ませ、一時的に機能停止させる。』という能力などがあります。」

「私はなんなんでしょうか。」

「雅さんは、『刺殺の咎を制し者』の子孫なので、『どんなどころにでも、刃物を飛ばせる能力』ですね。」

「でも、刃物なんか持ってませんよ。」

「自分の頭で刃物を手に持っているイメージをしてください。」

「こっ…？」

雅が、イメージを働かせたとたんに、雅の手が一瞬光り、雅の手の

中に日本刀が現れた。

「雅さん…、あなたは、刃物を投げるとき、日本刀を相手に向かって投げるんですか？」

「投げませんよ！でも、リーチは長いほうがいいかなと思っ
…。」

「それで、日本刀をイメージしたと…、さっき説明で、投げるって言ったのに。」

「すいませんでした、私が間違えてました。」

「わかればよろしい。じゃあ、雅さん。戦い方は今、教えましたので、頑張ってください。あつ、この能力で同じ『咎を制し者』を殺しても、国から特別な許可が出てますが、それ以外の人を殺すと、法的処置を受けますので、気をつけてくださいね。」

「は、はあ。分かりました、気を付けます。」

クリアスは、注意事項を雅に伝えると、土の中に帰っていった。帰る時も土から、帰るのですか。」

こうして、過去の呪いを受け継ぎし、12人の闘いが始まった…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4182z/>

咎をもちいて、咎を制す

2011年12月14日15時48分発行